

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	自然保護対策経費	事業番号	121

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-2	自然保護の推進
	施策目標	恵まれた自然環境を守り自然と人のふれあいを大切にすまち	

## 2 事務事業の目的

目的	貴重な自然環境との共生を図るために、市民、企業、自然保護団体及び関係行政機関などと連携・協働による保護・保全活動を推進する。
成果	自然保護意識の高揚が図られ、自然資源の賢明な利用促進に繋がる。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) ■委託(民間等に委託) ■その他(関係機関等との協働)
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1							
	R2							
	R3	①希少鳥類の保護増殖事業(生息地における繁殖条件の改善及び生息環境整備、生息地における監視等) ②明治自然環境保全区共同活動計画に基づく野鳥調査、自然観察会、植樹祭の開催など						
	R4	①希少鳥類の保護増殖事業(生息地における繁殖条件の改善及び生息環境整備、生息地における監視等) ②明治自然環境保全区共同活動計画に基づく野鳥調査、自然観察会、植樹祭の開催など						
	R5	①希少鳥類の保護増殖事業(生息地における繁殖条件の改善及び生息環境整備、生息地における監視等) ②明治自然環境保全区共同活動計画に基づく野鳥調査、自然観察会、植樹祭の開催など						
事業費と内訳	(単位:千円)	R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
	事業費			2,485	2,559	2,559	7,603	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金			253	253	253	759
		地方債						
		その他			1,300	1,300	1,300	3,900
	一般財源			932	1,006	1,006	2,944	
	人員(人工)			0.50	0.50	0.50	1.50	
	職員費(人員×7,704千円)			3,852	3,852	3,852	11,510	
総事業費			6,337	6,411	6,411	19,113		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	希少鳥類の保護増殖事業(衝突事故防止対策)への参加者数	5人	-	15人
	自然観察会(R3より実施)への参加者数	-	-	40人
			-	
<b>事務事業改善策</b> (継続事業のみ記入)				

#### 5 事務事業の効果について

<b>取組みに当たって期待される効果など</b>	①保護増殖計画に基づいた給餌、事故防止対策及び生息地における監視により、当市に生息する希少鳥類の自然状態での安定的な存続を図ることができる。 ②貴重な自然環境との共生を図るために、市民、企業、自然保護団体及び関係行政機関などと連携・協働による保護・保全活動を推進することにより、自然保護意識の高揚が図られ、自然資源の賢明な利用促進に繋がることが期待される。
--------------------------	---

<b>ア. 市民ニーズ</b>	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない  市民、企業、自然保護団体による各種保護・保全活動が実施されており、ニーズはある。
<b>イ. 市が実施する必要性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である  市民、企業、自然保護団体及び関係行政機関などと連携・協働による保護・保全活動が実施されており、市が主体的に実施すべきである。
<b>ウ. 事業の緊急性</b>	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない  貴重な自然環境との共生を図るためには、希少鳥類の保護増殖事業などを継続的に実施することで効果が発揮されるものであり、緊急性はある。
<b>エ. 手段の適切性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある  市が主体的に実施するとともに、市民、企業、自然保護団体及び関係行政機関などと連携・協働による保護・保全活動が推進されるため、適切である。
<b>オ. 事業の公平性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある  市が主体的に実施するとともに、市民、企業、自然保護団体及び関係行政機関などと連携・協働による保護・保全活動が推進されるため、公平性は高い。
<b>カ. 事業の有効性</b>	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない  貴重な自然環境との共生を図るものであり、本事業の有効性がある。

#### 7 今後の事業の進め方

<b>ア. 総合政策部で付された意見</b>	<b>【速やかに実施】</b> 速やかに事業推進を図り、関係機関等との連携・協働による保護・保全活動に努められたい。
<b>イ. アを踏まえ、担当部局の方針</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する  貴重な自然環境との共生を図るため、関係機関等との連携・協働による保護・保全活動に係る事業推進を速やかに図る。